

シルバー連合会

ふくおか

FUKUOKA No. 37

第37号
平成28年2月発行

あいさつ	1
定時総会	2
安全就業促進大会開催	3
高齢者活躍人材育成事業	5
派遣事業の取り組み	6
シルバーフェスティバル2015開催	7
ふくおか子育てマイスター事業	9
研修会報告	10



ぶあいさつ

発刊にあたりごあいさつ申し上げます。

近年、シルバー人材センターを取り巻く環境は大きく変化しています。昨年の第189国会の施政方針演説の中で、安倍内閣総理大臣が、シルバー人材センターの名を出し、期待を表明されたことは大きな話題となりましたが、「億総活躍社会」を目指すアベノミクス「新三本の矢」においても、シルバー人材センターの存在意義、役割には大きな期待が寄せられています。

その役割の一つが人手不足分野に対する人材派遣事業への取り組みです。福岡県における人材派遣事業への取り組みについては、従来からの請負や委任による受託事業が横ばい状態を続ける中、契約件数や契約金額などの受注量、就業会員数や就業延人数などの仕事量は、平成21年度の事業開始以降すべてが増加の二途を辿っています。

これについては、従来受注できなかった「指示・命令」を伴う仕事や、事業所における混在作業の受注が可能となったこと、一般労働者派遣法の改正により、シルバー人材センターが行う派遣事業が、地域ニーズに対し柔軟な対応ができるようになったことなどが考えられます。併せて、平成27年度からは、派遣事業推進のための「高齢者活用・現役世代活躍サポート事業」や「高齢者活躍・人材育成事業」が新たな国庫補助制度として始まり、派遣事業の進展に拍車がかかっています。

一方、シルバー人材センターの果たし得る、もう一つの大きな役割として、子育て・福祉・家事援助サービスへの取り組みがあります。

昨年11月27日に開催された、第2回シルバー人材センター活性化議員連盟総会に参加してきましたが、シルバー人材センター事業関連予算の増額要望

公益社団法人
福岡県シルバー人材センター連合会

会長 **榔井 正喜**



などに応える後押しの声とともに、社会保障分野の介護や子育て、教育分野の学童保育等にシルバーを進出させ、社会保障費の削減にも資する道も必要という発言もありました。

現在、連合会では派遣事業の推進とともに、子育て・福祉・家事援助サービス事業にも力を入れ、「ふくおか子育てマイスター研修」の受託や、介護保険制度改正に伴う「介護予防・日常生活支援総合事業」への参入に向けた取り組みを行っています。会員数の増大や事業拡大に向けた取り組みも必要ですが、地域の中で、住民の方々に喜ばれる存在、会員の方々が就業を通じて地域に貢献できていることが実感できる存在となることが、これからのシルバー人材センターのあり方であると考えます。

本誌の刊行にあたっては、連合会事業の総会や安全就業促進大会、啓発事業の実施報告とともに、派遣事業や高齢者活躍・人材育成事業、子育てマイスター研修の内容紹介なども掲載しています。ぜひご一読ください。

これからのシルバー人材センターのあり方として、社会貢献をしているというアピールとともに、イメージ戦略も考えていかなければなりません。昨年、全国シルバー人材センター事業協会により、シルバー人材センターマスコットキャラクター「チエブクロウ」が誕生しました。ゆるキャラブームに乗せ、シルバー人材センターのイメージを変えていく良いアイテムだと思います。

今後、連合会は各シルバー人材センターの事業運営の支援とともに、様々なアイデアや情報を収集、発信してまいります。本誌をご覧いただいた皆様、関係各位の皆様におかれましては、今後益々のご指導、ご鞭撻をお願いし、あいさつとさせていただきます。

平成27年度 定時総会



平成27年6月17日(水)午後1時30分から博多都ホテル3階孔雀の間において、平成27年度定時総会を開催しました。

櫛井正喜連合会会長のあいさつに始まり、続いて来賓の福岡労働局職業安定部福味恵部長と福岡県福祉労働部労働局新雇用開発課後藤孝幸課長補佐に祝辞をいただきました。また、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会須藤忠雄会長からは祝電をいただきました。

総会の議長は、公益社団法人須恵町シルバー人材センター中牟田恭志理事長が選出され、議事が進められました。当日審議された議事は、第1号議案平成26年度事業報告、第2号議案平成26年度決算報告及び監査報告、第3号議案役員を選任でした。いずれも満場一致で賛成し、原案通り可決承認されました。なお、役員は改選により理事及び監事が選任され、それぞれ就任を承諾されました。第3号議案終了後、臨時理事会を開催し、会長、副会長及び常務理事が選定されました。

役員名簿

職	氏 名	所 属	
会 長	櫛井 正喜	公益社団法人北九州市シルバー人材センター	理事長
副会長	村松 正文	公益社団法人久留米市シルバー人材センター	理事長
常務理事	桑野 六郎	公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会	事務局長
理 事	中島 紹男	公益社団法人福岡市シルバー人材センター	理事長
理 事	久保田 利幸	公益社団法人那珂川町シルバー人材センター	理事長
理 事	清水 幸男	公益社団法人福津市シルバー人材センター	理事長
理 事	前田 邦利	公益社団法人篠栗町シルバー人材センター	理事長
理 事	吉武 正一	公益社団法人みやこ町シルバー人材センター	理事長
理 事	大塚 邦勝	公益社団法人飯塚市シルバー人材センター	理事長
理 事	井形 陽一	公益社法人大牟田市シルバー人材センター	理事長
理 事	池田 清巳	公益社団法人小郡大刀洗広域シルバー人材センター	理事長
監 事	坪内 二郎	公益社団法人岡垣町シルバー人材センター	理事長
監 事	伊藤 英俊	公益社団法人嘉麻・桂川広域シルバー人材センター	理事長

平成27年度 安全就業促進大会開催

安全意識を高め、

日々の生活に安心を

日時 平成27年7月14日(火)
場所 福岡市立中央市民センター
主催者 連合会
参加者 367名

安全・適正就業対策の一層の推進を図るため、平成27年7月14日(火)、福岡市立中央市民センターにおいて、県内42センターの会員・安全就業推進委員等367名が参加し、安全就業促進大会が開催されました。

大会では、吉武正二委員長(みやこ町)SC理事長の開会のことば、櫛井会長の挨拶、来賓の挨拶に続き、安全就業優良センターの表彰、安全標語の発表・表彰を行いました。

安全就業優良センター表彰では、連合会表彰基準をクリアした、みやこ町、飯塚市、田川地区、筑前町の4センターが受賞し、中でもみやこ町は全シ協の優良賞も受賞し、ダブル受賞となりました。

また、安全標語表彰では、応募総数269点、うち過去分・年度内重複作品5点を除き、有効作品264点を委員会にて厳正に審査した結果、別掲のとおり入選作品が決定しました。受賞者の皆様おめでとうございました。

続いて、吉武正二委員長による連合会安全・適正就業対策委員会報告、昨年度の重篤事故発生の実情の反省のもと、その後の安全就業活動について、北九州市SCの出口企画課長より事例発表していただき、各センター・会員にとつておおいに参考になったと思います。

さらに、福岡県生活安全課消費生活センターによる「悪質商法、二重電話詐欺について」の生活安全講話、博多警察署による「高齢者の事故抑止について」の交通安全講話と続き、普段の生活に役立つお話をいただきました。

平成27年度 安全就業促進大会

公益社団法人 福岡県シルバー人材センター連合会



安全就業優良
センター表彰



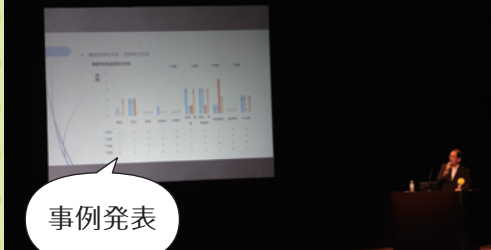
休息後、「就業災害を防止するには」―普段の生活にも役立つ災害防止の考え方―と題して、損保ジャパン日本興亜リスクマネジメントの太田真治氏により記念講演をしていただき、連合会の昨年度の事故事例を交え、災害分析の大切さを学ぶことができました。

最後に、行橋市SCの安全・適正就業対策委員会委員長の丹村幸司氏による、「事故は絶対に起こさないぞ」という力強い安全就業宣言があり、怡土副委員長（大牟田市SC事務局長）の閉会のことばで終了しました。

27年度 安全就業促進大会

公益社団法人 福岡県シルバー人材センター連合会

事例発表



就業災害防止に
ついての
記念講演



安全標語
表彰



安全標語の受賞結果

最優秀賞

作業前 みんなで摘もう 危険の芽

（公社）筑紫野市シルバー人材センター 竹村 章七

優秀賞

ヘルメットのあごひも締めて気も締めて

（公社）福津市シルバー人材センター 綱脇 浅男

安全第二心と身体に安全ベルト

（公社）豊前・上毛シルバー人材センター 友松サチ子

佳作

忘れるな「慣れ」という名の落とし穴

（公社）筑紫野市シルバー人材センター 溝上 好英

気を抜くな最後の動作に事故が待つ

（公社）豊前・上毛シルバー人材センター 辛嶋 憲一

気をつけよう慣れと過信に潜む事故

（公社）須恵町シルバー人材センター 野田 成人

気を抜くな 今日も安全帰宅まで

（公社）みやま市シルバー人材センター 河口 正芳

段取りが安全作業の第二步

（公社）嘉麻・桂川広域シルバー人材センター 山内 孝昭

平成27年度

高齢者活躍人材育成事業について

厚生労働省福岡労働局より委託を受け、シルバー派遣就業を希望する地域の60歳以上の高齢者及びシルバー会員を対象に、派遣就業に必要な知識や技能を習得することを目的として事業を展開しております。

学んでいただいたあとは、派遣会員として就業できるようサポートし、就業拡大が図れるように支援いたします。

福岡県下にて、36講習の開始者数478人を目標に開催しており、12月末現在では、34講習を修了し、開始者数は476人で、修了者数は472人でした。

講習名		内 容	実施期間	実施回数
基礎講習 (全講習共通開催)		シルバーでの就業と派遣就業との違い、 よりよいコミュニケーションについてなど	1日間	36回
各種専門講習	子育て支援	子供の成長・発達、補助員としての心構え、 コミュニケーション、遊びなど	2日間	4回
	介護補助	介護の基礎(移動・移乗、食事介助、 ベットメイキング他) 認知症の理解など	3日間	7回
	調理補助	食品衛生法、食中毒の予防知識、 調理方法の基本など	3日間	5回
	農業支援	耕作用土作り、耕培品目ごとの栽培方法、 注意事項、実習など	2日間	4回
	清掃業務	使用洗剤の知識(配合、効果)作業の 安全確保、効果的な清掃方法など	3日間	8回
	マンション 管理	マンションの構造と維持管理について、 日常清掃、作業報告の仕方など	3日間	8回

調理補助
講習



農業支援講習
(いちじく)



講習のお申込み及び詳細は、
各地域のシルバー人材センター
または当連合会まで
お問い合わせください。

派遣事業の取り組み

シルバー派遣事業とは

シルバー派遣事業とは、福岡県シルバー人材センター連合会が厚生労働大臣に届出を行うことで実施することができる事業です。シルバー派遣は、『労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律』（以下「派遣法」という。）と『高齢者等の雇用の安定等に関する法律』（以下「高齢法」という。）の適用を受けて実施しています。二つの法律の適用を受けて実施しているため、法改正により労働者派遣事業は許可制のみとなりましたが、シルバー派遣は届出制による派遣事業が認められています。また、シルバー派遣は高齢法で、臨時的かつ短期的（概ね月10日程度）又はその他軽易な業務（概ね週20時間程度）いわゆる臨短軽の範囲内で就業することが定められています。

請負・委任と派遣の違い

請負・委任（以下「請負等」という。）と派遣の違いは指揮命令の有無です。（下図参照。）請負等の場合、発注者からの指揮命令を受けることはできませんが、派遣では、派遣先からの指揮命令を受けながら就業します。請負等では引き受けられなかった発注者の従業員と混在する仕事や指揮命令を伴う仕事が、派遣によりお引き受けできるようになりました。派遣就業の拡大により、会員の多様化するニーズやお客様からのご要望に対応することができるようになりました。また、請負等の場合、会員とシルバー人材センターの間に雇用関係はありませんが、派遣の場合、会員は連合会と雇用契約を結び、連合会の従業員として派遣先で就業します。雇用契約の締結により会員は安定した就業をすることができます。収入の見込みが立てやすい点も会員にとっての派遣就業のメリットとなっています。

派遣の現状

平成26年度に派遣就業した会員は約700名でしたが、平成27年12月末現在約1,300名の会員が派遣業務に従事しており、スーパー等でのレジ業務や調理業務、介護施設や病院等での補助業務や送迎、工場内での製造業務、事務業務等幅広い分野で活躍しています。

派遣に関する目下の課題は、派遣就業会員の不足です。お仕事の依頼を受けても、就業する会員が見つからないためにお断りせざるを得ないケースが多々あります。今後は、既存会員の掘り起しや新規会員獲得に向け、連合会とセンターが一体となり取り組んでいきたいと思います。

派遣事業のしくみ



連合・センター（派遣元）と派遣会員との間に雇用関係が生じます。派遣会員はお客様（派遣先）の指揮命令により就業します。

お引き受けするお仕事の例

- 一般事務
- スーパーなどでの品出しや商品管理
- 調理補助
- 清掃業務
- マンション管理
- 老人ホームなどでの介護補助業務
- 保育施設での補助業務 など



シルバー フェスティバル 2015

開催

シルバー人材センターの事業や活動を
紹介する、年に1度の大イベント

毎年10月はシルバー人材センター普及啓発
促進月間です。当連合会でも例年通り、
RKB放送会館にてシルバーフェスティバル
2015を平成27年10月17日(土)、18日(日)
の二日間で開催、両日併せて約10万人の方が来
場されました。

このフェスティバルはRKBラジオまつりと
同時開催され、県内のセンターとともにシル
バー人材センターの様々な活動を知ってい
ただくためのものです。今年は福岡市、糸島
市、直方市、大牟田市、朝倉市、柳川市(2日



間)、筑紫野市、久留米市、飯塚市、嘉麻・桂川広域、うきは市、大川市（1日間）の12センターが参加してくださいました。

連合会では高齢者活躍人材育成事業で行っている各種技能講習会やシルバー人材センター事業のご案内をはじめ、ふくおか子育てマイスターグループあゆみによる子どもひろばでの昔あそびなどを実施、子どもたちの笑顔とともにシルバー人材センターに対する様々なお声を頂戴することができました。

各センターでは会員さんの手作り小物やリフォーム作品、伝統のある甘木絞りやさげもん、木工品の販売を始め、地元の農産物（果物、野菜、お米、梅干し、味噌など）、綿菓子やソフトクリーム、手作りのお弁当やたこやき、焼き芋等おいしいものがたくさん並び、多くのお客様に喜んでいただきました。

高齢化が進む中、会員の対象となる方は増えているのですが、残念ながら会員が足りないという声が多く聞かれます。まだまだ広報活動は足りていないようで、直接話をするなどで活動を理解してくださる方も多く、このような機会を積極的に作る必要があると実感した時間となりました。



ふくおか子育てマイスター 事業に取り組んでいます

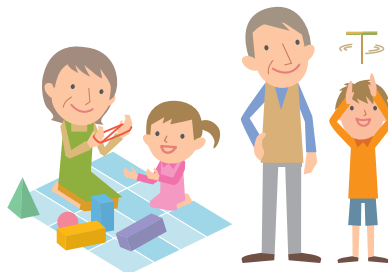
福岡県では平成24年度から県内在住の60歳以上の方を対象とした高齢者子育て支援推進事業として「ふくおか子育てマイスター事業」に取り組んでおり、当連合会が事業を受託し実施、今年で4年目を迎えました。平成27年12月現在で全30時間の研修会を修了した「ふくおか子育てマイスター認定・登録者」は1000名を超え、様々な形で地域の子育てを応援しています。

ふくおか子育てマイスター認定研修会を開催(年4回)

今年度は久留米市、北九州市、篠栗町、福岡市で開催となりました。この研修会では子育て支援とは、コミュニケーションについて、子どもの発達や遊び、ケガや病気についてなど、子育ての基礎となる項目を学びます。実習やグループワークも多く、受講者同士の距離が縮まりやすいため仲間作りの場ともなっており、認定・登録後は気の合う者同士グループを作って活動されることが増えています。ひろばを開催して親子の集う場や関係づくりの場を提供したり、イベント等での集団託児や出し物のお手伝いをしたり、自分たちで学びの場を作ったりと活動は様々ですが、子育てを支えたいという温かな思いはどなたも同じです。保育所や放課後児童クラブなど施設での補助としての要請も増えており、高齢者の持つ経験と温かさが大変好評です。



絵本の
読み聞かせに
挑戦中です



フォローアップ研修会

ふくおか子育てマイスターを対象に、今年は「乳幼児救急法」、「遊びと製作」、「子どもの心と大人の役割」という3つの研修会を開催しました。どれも多くの参加があり、久しぶりの研修会を楽しんでくださいました。内容についてもとても好評で、スキルアップに一役買うことができましたようです。今後も活動に役立つ内容を提供できるよう、事務局一同取り組んでまいります。



手袋を使った
人形を作りました

ふくおか子育てマイスターに
関するお問い合わせはこちらまで



092-292-1851

平日(祝祭日を除く)9:00~17:00

■役職員研修会

『二セ電話詐欺の現状』と題し、福岡県警察本部生活安全部 生活安全総務課安全安心まちづくり推進室係長黒川進氏に講演をお願いしました。昨今、全国において様々な詐欺事件が多発し、被害額は過去最悪の状況となっています。特に福岡県では「二セ電話詐欺」が平成27年5月末時点で10億円を超す甚大な被害額（前年同期の2倍強）となっており、その約75%が65歳以上の高齢者を狙った手口となっています。シルバー人材センターの正会員は60歳以上の高齢者であることから、主なだましの手口等について説明を受け、被害に遭わない・遭わせないための連帯意識を持ち各地域おいての防犯意識の高めること、福岡県警「二セ電話気づかせ隊」への参加による被害防止啓発活動に取り組むことなど、安全安心な地域社会づくりの一環を担うこともシルバー人材センターの大きな役割だと認識しました。

平成27年6月17日(水)
博多都ホテル 出席者94名

■適正な受注・就業に関するセミナー

シルバー派遣事業の拡充に伴い、会員の円滑な就業の推進を図り、適正な運営を行うため、福岡労働局職業安定部需給調整事業課に講義を依頼し、主任需給調整指導官三嶋良之氏から『シルバー人材センターにおける労働関係法令の適用及び請負について』具体的な偽装請負裁判例や指導事例等を説明していただき、就業の提供にあたっての留意事項について教わり、次に需給調整第2係長江上智朗氏から『労働者派遣をとる現状と課題について』改正法案の概要及び今後の対応等について学びました。

平成27年8月28日(金)
博多都ホテル 出席者75名

■改正派遣法及び マイナンバーに関するセミナー

改正派遣法については、福岡労働局職業安定部需給調整事業課需給調整指導官野田智氏に講義を依頼し、労働者派遣制度の概要、派遣の流れ、派遣元・派遣先が講ずべき措置及び改正労働者派遣法等をまとめた資料により、シルバー派遣事業の運営に影響する事項について詳しい説明を受け、さまざまな検討課題に取り組む必要があることを痛感しました。

また、平成28年1月から運用開始となるマイナンバー制度については、連合会総務・経理課長野崎真由美が、福岡県内シルバー人材センターが行う「マイナンバー取扱いの実務」について、制度の概要、対応スケジュール、組織体制の整備、取扱規程、安全管理措置、取得の方法・運用・保管等を説明し、適切に管理するようお願いしました。

平成27年12月8日(火)
福岡県中小企業振興センター 出席者81名

■子育て・福祉・家事援助サービス 担当職員研修会

介護保険法の改正に伴い、平成29年度末までに「介護予防・日常生活支援総合事業」に各市町村で取り組むことになっています。介護予防の観点から高齢者を地域で支えていくための仕組み作りですが、シルバー人材センターの福祉・家事援助サービスはその事業の核となり得るもので、全国的に参入に向けて動いています。今回は直方市、糸島市、行橋市の行政担当者に現在の状況や考え方、事業内容等を説明いただくとともに、シルバーに期待することをうかがいました。「仕組みが良くわかった」、「これから取り組むべき方向が見えた」などの感想が多く寄せられ、センターの動きを加速するものとなったようです。グループワークでは事業内容や課題、手順や準備などを話し合い、県内全体での事業参入に向け、一丸となって取り組むことを確認しました。

平成27年11月13日(金)
福岡センタービル 出席者54名

編集後記

二〇二六年の干支は、丙申（ひのえさる）です。

干支と言えば、「子（ね）・丑（うし）・寅（とら）」と、十二の動物を数えてしまっています。しかし、本来は十干（じっかん）と十二支を組み合わせたものを干支（えと）と言い、甲子（きのえね）に始まり、三十三番目が丙申、今年の干支は六十年に一度の年だそうです。

十干は、樹木の生長に例えられるそうので、丙は、その形が明らかになっていく頃なのだそうです。

一方で十二支も同じく、申は「呻（うめく）」という意味で、果実が成熟し、固まってくる状態を表しています。

つまり、今年は「形が明らかになっていき、実が固まる年」と言えそうです。

インターネットでの検索は便利なもので、六十年前（一九五六年）の出来事を調べてみると、たくさん情報があふれていました。

丙申にふさわしい話題を拾ってみると、五月には、故・石原裕次郎が、「太陽の季節」で俳優デビューをしています。十月は、西鉄ライオンズが日本シリーズで巨人を下し、球団史上初の日本一になり、十二月には、日本が国際連合に加盟しています。

かなり都合の良い検索ですが、明るい話題の多い年でした。

六十年と言えば還暦。暦の二巡りを経て、今年も「成長し、実が固まる年」であることを、心から願います。

福岡県警からののお知らせ

二七電話詐欺 被害額

(福岡県内 平成27年1月～12月末)

18億4,346万円

私がだまされた理由

～被害者からの聞き取り調査結果～

- 手口は知っていたが、「自分は大丈夫」と思っていた。
- 話し方が優しく丁寧で、親切だった。
- 自分や家族の個人情報を知っていたので、息子だと信用した。
- 焦り、恐怖心、羞恥心などから、周りの人に相談できなかった。

【最近の発生事例紹介（オレオレ詐欺）】

【第一段階】
ウソ話を信じ込ませる
(仕込み)

息子を名乗る男
からの電話

「会社のお金を入れた鞆をなくした(盗まれた)。」

警察や駅員を名乗る男
からの電話

「息子さんの鞆や携帯電話が
拾われている(見つかった)。」

「今日はまだ返還できない。」

【第二段階】
緊急事態を装って、
現金を懇願

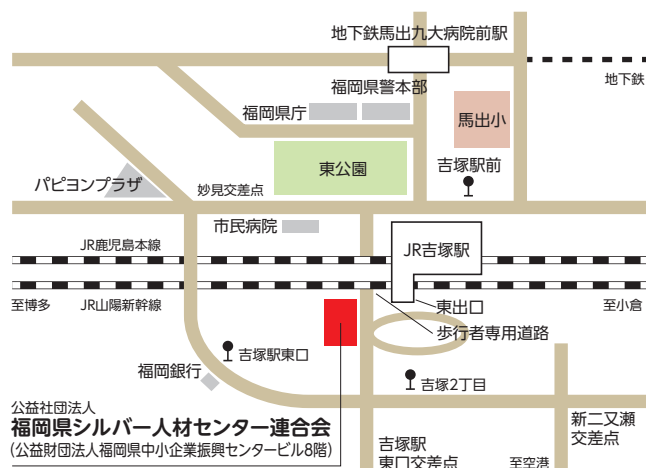
再度、息子を名乗る男
からの電話

「今日中にお金を支払わなければ会社をクビになる。」
「急いで現金を準備できないか。」

被害

信じ込んでしまった被害者は、息子の部下（後輩）を名乗る男に現金を手渡してしまった。

電話でお金はすべて詐欺！すぐに相談・110番！



公益社団法人

福岡県シルバー人材センター連合会

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号

福岡県中小企業振興センタービル8F

TEL 092-623-5656 FAX 092-623-5677

ホームページ <http://www.fscr.or.jp>